

Autodesk® Moldflow® Adviser 2011

インストラクションガイド

Autodesk®

リビジョン 4, 2010 年 2 月 17 日.

Autodesk® Moldflow® Adviser

© 2010 Autodesk, Inc. All rights reserved.

Autodesk, Inc.社の許諾を得ることなく、本ドキュメントのいかなる部分といえども、その目的を問わず、いかなる形式または手段でも複製することは禁じられています。本ドキュメントに記載される特定のマテリアルは、著作権所有者の許諾を得た場合に限り、再版されます。

本ソフトウェアの一部に FLEXnet Publisher ©2009 Acrezzo Software Inc. and/or InstallShield Co. Inc を使用しています。

本ソフトウェアの一部に Qt を使用しています。Copyright © 2009 Nokia Corporation and/or its subsidiary(-ies). All rights reserved. お問い合わせ先: Qt Software Information (qt-info@nokia.com)。

本ソフトウェアの一部に QAxContainer を使用しています。Copyright © 2009 Nokia Corporation and/or its subsidiary(-ies). All rights reserved. お問い合わせ先: Qt Software Information (qt-info@nokia.com)。

商標

3DEC (design/logo)、3December、3December.com、3ds Max、Algor、Alias、Alias (swirl design/logo)、AliasStudio、Alias|Wavefront (design/logo)、ATC、AUGI、AutoCAD、AutoCAD Learning Assistance、AutoCAD LT、AutoCAD Simulator、AutoCAD SQL Extension、AutoCAD SQL Interface、Autodesk、Autodesk Envision、Autodesk Intent、Autodesk Inventor、Autodesk Map、Autodesk MapGuide、Autodesk Streamline、AutoLISP、AutoSnap、AutoSketch、AutoTrack、Backburner、Backdraft、Built with ObjectARX (logo)、Burn、Buzzsaw、CAICE、Civil 3D、Cleaner、Cleaner Central、ClearScale、Colour Warper、Combustion、Communication Specification、Constructware、Content Explorer、Dancing Baby (image)、DesignCenter、Design Doctor、Designer's Toolkit、DesignKids、DesignProf、DesignServer、DesignStudio、Design Web Format、Discreet、DWF、DWG、DWG (logo)、DWG Extreme、DWG TrueConvert、DWG TrueView、DXF、Ecotect、Exposure、Extending the Design Team、Face Robot、FBX、Fempro、Fire、Flame、Flare、Flint、FMDesktop、Freewheel、GDX Driver、Green Building Studio、Heads-up Design、Heidi、HumanIK、IDEA Server、i-drop、ImageModeler、iMOUT、Incinerator、Inferno、Inventor、Inventor LT、Kaydara、Kaydara (design/logo)、Kynapse、Kynogon、LandXplorer、Lustre、MatchMover、Maya、Mechanical Desktop、Moldflow、Moonbox、MotionBuilder、Movimento、MPA、MPA (design/logo)、Moldflow Plastics Advisers、MPI、Moldflow Plastics Insight、MPX、MPX (design/logo)、Moldflow Plastics Xpert、Mudbox、Multi-Master Editing、Navisworks、ObjectARX、ObjectDBX、Open Reality、Opticore、Opticore Opus、Pipeplus、PolarSnap、PortfolioWall、Powered with Autodesk Technology、Productstream、ProjectPoint、ProMaterials、RasterDWG、RealDWG、Real-time Roto、Recognize、Render Queue、Retimer、Reveal、Revit、Showcase、ShowMotion、SketchBook、Smoke、Softimage、Softimage|XSI (design/logo)、Sparks、SteeringWheels、Stitcher、Stone、StudioTools、ToolClip、Topobase、Toxik、TrustedDWG、ViewCube、Visual、Visual LISP、Volo、Vtour、Wire、Wiretap、WiretapCentral、XSI、および XSI (design/logo) は、Autodesk Inc.社および/またはその子会社および/または関連会社の、米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。

免責事項

本ドキュメントおよび記載される情報は AUTODESK, INC. 社により、「現状のまま」で提供されるものとします。AUTODESK, INC. 社は、明示、黙示を問わず、特に所有権の非侵害、商品性又は特定目的への適合性についての黙示的保証を含め、その他本ドキュメントおよび記載される情報に対する一切の保証をいたしません。

目次

第 1 章:	Autodesk Moldflow Adviser のインストール	1
	インストールする前に.....	1
	サポート プラットフォーム.....	1
	システム仕様.....	2
	ハードウェア要件.....	3
	ディスク容量要件.....	3
	グラフィックス要件.....	4
	サードパーティ製ソフトウェア.....	4
	CAD パッケージ.....	5
	Autodesk Moldflow Adviser をインストールする前に.....	5
	すべてのプログラムの終了.....	5
	Autodesk Moldflow Adviser プレリリース バージョンのアンインストール... 5	
	言語パッチ.....	6
	Autodesk Moldflow Adviser のインストール.....	6
	Autodesk License Manager (Moldflow) のインストール.....	7
	Autodesk Moldflow Adviser のインストール完了.....	7
	ユーザー インターフェース デフォルト オプションのリセット.....	8

第 2 章 :	ライセンス	9
	ライセンス機能.....	9
	ライセンス サーバーの設定.....	10
	ライセンス キーの取得.....	10
	新規ライセンス サーバーの設定.....	11
	既存ライセンス サーバーへの新規ライセンスのインストール.....	13
付録 A :	CAD との統合	16
	Autodesk Inventor 2011.....	16
	SolidWorks 2010.....	17
	Pro/ENGINEER Wildfire 5.0.....	17
付録 B :	コマンド プロンプトからのインストール	18
	インストール DVD からのインストール.....	18
	コマンド ライン インストール オプション.....	18
付録 C :	最低限のライセンス要件	21
付録 D :	ライセンス補足情報	23
	シリアル番号.....	23
	適切なサーバー ID の検出.....	24
	ライセンス ファイルの統合.....	25
	Autodesk License Manager (Moldflow) サーバー/クライアント モデル.....	26
	ヘルプ情報の取得.....	27

Autodesk Moldflow Adviser の インストール

1

インストールする前に

ソフトウェアをインストールする前に、次の点を考慮する必要があります。

- 1 使用するコンピュータがサポート プラットフォームであることを確認します。
- 2 管理者権限を使用してログオンします。
- 3 Autodesk License Manager (Moldflow) ソフトウェアのどのコンポーネントをインストールするかを決定します。クライアントのみをインストールする場合は、Autodesk License Manager (Moldflow) サーバーを実行するマシンのホスト名または IP アドレスを確認しておく必要があります。

注: クライアントとサーバーを異なるマシンにインストールする場合は、マシン間にネットワーク接続があり、クライアントとサーバーがポート 6014 で TCP/UDP を介して通信できることを確認します。Windows でポートを開く方法に関しては、<http://www.autodesk.com/adlm-help-jp> を参照してください。ライセンス サーバーの操作に関する詳細は、[Autodesk License Manager \(Moldflow\) サーバー/クライアント モデル](#) 26 ページ を参照してください。

サポート プラットフォーム

表 1: Autodesk Moldflow Adviser のサポート プラットフォーム

オペレーティング システム	サービス パック
Windows 7 (32 ビット版) Professional、Enterprise、Ultimate	
Windows 7 (64 ビット版) Professional、Enterprise、Ultimate	

オペレーティング システム	サービス パック
Windows Vista (32 ビット版) Business、Enterprise、Ultimate	SP 1
Windows Vista (64 ビット版) Business、Enterprise、Ultimate	SP 1
Windows XP Professional (32 ビット版)	SP 3
Windows XP Professional (64 ビット版)	SP 2

システム仕様

表 2 : Autodesk Moldflow Adviser の実行に必要なハードウェアおよびソフトウェアの最小仕様と推奨仕様

システム コンポーネント	最小	推奨
メイン メモリ (RAM)	1 GB	2 GB 以上
仮想メモリ/スワップ容量	500 MB	1 GB 以上
ディスク容量	2 GB	4 GB 以上
CPU 速度	1 GHz	下記参照
グラフィックス	OpenGL 1.1	
ウェブ ブラウザ	Internet Explorer 7	

推奨

Autodesk では、大容量のオンチップ キャッシュ (例えば 2 MB - 4 MB) を搭載した最速のプロセッサの使用を推奨します。解析速度を改善するには、各コアで高速の CPU クロックおよび大容量のキャッシュが利用可能であることが最も重要です。

解析中には大量のファイルのスワップが行われるため、高速なメモリと FSB が不可欠です。これらには、できる限り高い仕様のものご利用ください。

32 ビットの Windows システムでは、1 つのプロセスがアクセスできるメモリ量は 2 GB に制限されています。このため、32 ビットの Windows マシン

で実行できる 3D 解析の大きさは制限されます。この制限のために、大型または非常に複雑な 3D モデルは解析を完了できない場合があります。

使用可能な物理メモリが大きいほど、ソフトウェアのパフォーマンスは向上します。これは大型モデルの解析において特に顕著です。大型モデルでの反りの調査や、3D モジュールを広範囲で利用することを計画している場合は、デュアル プロセッサを使用するとともに、プロセッサ コアあたり 2 GB 以上の RAM を確保することを検討してください。

複雑な 3D 形状を処理する場合は、64 ビットのプロセッサ (4 GB 以上の RAM) と 64 ビット バージョンの Microsoft Windows® を使用することを推奨します。

ハードウェア要件

- DVD ドライブ
- イーサネット カード

Autodesk Moldflow Adviser のソフトウェア セキュリティは、ネットワーク経由でライセンスキーの要求と取得を行います。ライセンスサーバーを一意的に識別するためにネットワーク ハードウェアを使用します。このため、Autodesk Moldflow Adviser を実行するすべての PC で有効なイーサネットカードが必要となります。

推奨

Autodesk では、特に冷却、反りまたは 3D 解析を実行するには、RPM が高速 (15,000+) でバッファ容量が大きい、SCSI/Ultra SCSI またはシリアル ATA ハード ドライブを推奨します。Autodesk Moldflow Adviser は、解析中や終了時にファイルに大量のデータを書き込みます。そのため、ディスクへのアクセスが高速ならばパフォーマンスが大幅に向上します。

ディスク容量要件

Autodesk Moldflow Adviser で必要となるディスク容量は、実行する解析によって異なります。

大規模で複雑な成形品の 3D 反り解析を行う場合、10 GB に達するディスク容量が必要な場合があります。次の表は、Autodesk Moldflow Adviser クライアント ソフトウェアに割り当てる推奨ディスク容量を示したものです。

表 3: インストールに必要な推奨ディスク容量

インストールするソフトウェア	完全インストール
Autodesk Moldflow Adviser のみ	350 MB

インストールするソフトウェア

完全インストール

Autodesk Moldflow Adviser および CAD 375 MB
との統合

注: インストール中には、上記のディスク容量の約 2 倍の容量が必要になります。

グラフィックス要件

グラフィックス デバイスおよびドライバーに関する情報です。

- SVGA または同等の 1,600 万色グラフィックスカード、最低解像度 1280 X 1024
- 512 MB 以上のグラフィックス メモリを推奨。カードの最新ドライバをインストールしてください。ドライバーおよびインストール手順に関しては、カード製造元のウェブサイトを参照してください。

注: Autodesk は Autodesk Moldflow 製品と特定のグラフィックスカードの組合せに対して、動作保証を行っておりません。

Autodesk は特定のカードと当社のソフトウェアの組合せで生じる可能性のある全ての問題の解決を、カード製造元と協力し全力で取り組んでいます。ただし、グラフィックス関連のすべての問題の修正については保証できません。これは、Autodesk Moldflow ソフトウェアではなくカード製造元のドライバに問題がある場合があるためです。

推奨

Autodesk Moldflow Adviser は OpenGL を広範に使用しているため、OpenGL のアクセラレータを提供するデバイスを使用するとパフォーマンスが向上します。

サードパーティ製ソフトウェア

ヘルプシステムを使用するには、Microsoft® Internet Explorer 7.0、および Flash Player 9.0 (32 ビット ブラウザ) が必要です。

Autodesk Moldflow Adviser で作成されるレポートは、Microsoft® Internet Explorer 7.0、および Office 97 以降 (Powerpoint と Word のみ) の Microsoft® Office バージョンでの使用に最適化されています。

注: 提供される CAD 統合コンポーネントを使用する場合、Autodesk Moldflow Adviser をインストールする前に CAD ソフトウェアをインストールする必要があります。

CAD パッケージ

Autodesk Moldflow Adviser はスタンドアロンプログラム、またはサードパーティ製 CAD プログラムとの統合パッケージとして使用できます。次の表は、Autodesk Moldflow Adviser との統合が可能な CAD パッケージの詳細を示します。

CAD パッケージ	バージョン
Autodesk Inventor ¹	2011
SolidWorks ¹	2010
Pro/ENGINEER	Wildfire 5.0

Autodesk Moldflow Adviser を特定のCADパッケージと使用する場合は、手順に関しては、[CAD との統合](#) 16 ページを参照してください。

Autodesk Moldflow Adviser をインストールする前に

Autodesk Moldflow Adviser のインストール中に障害が発生しないようにするには、いくつかの初期作業を行う必要があります。

すべてのプログラムの終了

Autodesk Moldflow Adviser のインストール開始前に、実行中のすべてのプログラムを終了します。

これで、インストール中に「ファイルが使用中」というエラーが発生しなくなります。

Autodesk Moldflow Adviser プレリリースバージョンのアンインストール

Autodesk Moldflow Adviser のプレリリースバージョンをマシンにインストールしている場合、現在のバージョンのインストールを行う前にアンインストールすることを強く推奨します。

以前にインストールしたプレリリースバージョンがあるかを調べるには、**コントロールパネル**を開き ([スタート]>[コントロールパネル])、[プログラムの追加と削除] をダブルクリックします。[現在インストールされているプログラム] のリストが表示されるまで待ち、「**Autodesk Moldflow Adviser xxxxx** (xxxxx はインストールバージョン番号)」というエントリを探します。

¹ Microsoft .NET バージョン 2 をインストールする必要があります。 .NET バージョン 2 は次のサイトからダウンロードできます。
<http://www.microsoft.com/japan/msdn/netframework/downloads/default.aspx>

「Autodesk Moldflow Adviser xxxx」がリストにある場合、それを選択して **[削除]** をクリックします。

または、次のように Autodesk Moldflow Adviser に搭載されたアンインストール機能も使用できます。

- 1 **[スタート] > [すべてのプログラム] > [Autodesk] > [Uninstall Autodesk Moldflow Adviser xxxx]** をクリックします。
- 2 **[はい]** をクリックして、アンインストール処理を開始します。
- 3 「**C:\Program Files\Autodesk\Moldflow Adviser xxxx\data\udm\mpadefaults.udm**」ファイルがある場合は、これを削除して次のインストールがクリーンになるようにします。

PC を再起動して、アンインストール処理を完了します。

言語パッチ

言語パッチをインストールする前に、この製品の英語版をインストールする必要があります。

Autodesk Moldflow Adviser のインストール

Autodesk Moldflow Adviser セットアップ ウィザードの手順に従って、Autodesk Moldflow Adviser および Autodesk License Manager (Moldflow) ソフトウェアをインストールします。

Autodesk Moldflow Adviser をサポートされている CAD プログラムと使用する場合は ([CAD パッケージ](#) 5 ページを参照)、事前に CAD プログラムをインストールしておきます。

- 1 管理者権限のあるアカウントを使ってログインします。
- 2 実行中のすべてのプログラムを終了します。
- 3 Autodesk Moldflow 2011 DVD を DVD ドライブに挿入します。
PC で自動再生機能が有効になっている場合は、Autodesk Moldflow Adviser DVD のダイアログ ボックスが自動的に表示されます。有効になっていない場合は、DVD の **cdstartup** フォルダに移動して、**cdstartup.exe** をダブルクリックします。
- 4 **[Install] > [Autodesk Moldflow Adviser 2011]** をクリックして、セットアップ ウィザードを開始します。
[Setup—Autodesk Moldflow Adviser] ダイアログ ボックスが表示されます。
- 5 セットアップ ウィザードの手順に従います。

セットアップ ウィザードのプロセスで、Autodesk License Manager (Moldflow) をインストールする必要があります。このインストールは自動的に開始します。

注: クライアントとサーバーを異なるマシンにインストールする場合は、マシン間にネットワーク接続があり、クライアントとサーバーがポート 6014 で TCP/UDP を介して通信できることを確認します。Windows でポートを開く方法に関しては、<http://www.autodesk.com/adlm-help-jp> を参照してください。

注: *.ipt ファイルを Autodesk Moldflow 2011 製品に正常にインポートするには、Autodesk® Inventor® View 2011 または Autodesk® Inventor® 2011 のいずれかをインストールしておく必要があります。Autodesk Inventor View 2011 はインストールディスクに搭載されています。インストールメニューから選択して別途インストールするか、www.autodesk.com/inventorview からダウンロードできます。

Autodesk License Manager (Moldflow) のインストール

すべてのライセンスを必要とする製品では、Autodesk License Manager (Moldflow) クライアントソフトウェアのインストールが必要です。Autodesk License Manager (Moldflow) のインストールは、クライアント製品のインストール完了後に自動的に開始します。このソフトウェアのスタンドアロンインストールをする場合は、Autodesk Moldflow 2011 DVD メニューから直接実行できます。

インストール前に、「インストールする前に」1 ページを確認して、クライアントのみ、またはクライアントとサーバー両方をインストールするのかを決定しておきます。初回インストールの場合、ライセンスサーバーのホスト名または IP アドレスを確認しておく必要があります。

注: クライアントとサーバーソフトウェア両方をインストールする場合、127.0.0.1 をサーバーアドレスとして使用できます。

サーバーをインストールする場合、ライセンスキーの登録など、サーバーの起動および実行するために必要な設定作業がいくつかあります。

Autodesk Moldflow Adviser のインストール完了

Autodesk License Manager (Moldflow) ソフトウェアのインストールが完了すると、**[Completing the Autodesk Moldflow Adviser Setup Wizard]** ダイアログボックスが表示されます。

注: ソフトウェアのインストール完了時に、マシンの再起動が求められることがあります。Autodesk Moldflow Adviser を開始する前に、再起動を実行することを推奨します。

[Finish] をクリックして、設定を終了します。

ライセンスサーバーに適切なライセンスキーをインストールしている場合、Autodesk Moldflow Adviser を実行できます。ライセンスキーのインストールに関する詳細は「Autodesk License Manager インストールガイド」を参照してください。

Autodesk Moldflow Adviser で **[ヘルプ]** > **[ヘルプの検索]** を選択するとパネルが開き、**[Autodesk Moldflow Adviser の新機能]** や **[基本操作]** などの役立つ情報が表示されます。

ユーザー インターフェイス デフォルト オプションのリセット

必要に応じて、レジストリおよびユーザー デフォルト設定を初期設定にリセットすることができます。

- 1 すべての Autodesk Moldflow 製品を終了します。
- 2 Autodesk Moldflow Adviser 2011 コマンド シェル (**[スタート]** > **[すべてのプログラム]** > **[Autodesk]** > **[Autodesk Moldflow Adviser 2011]**) を開き、「advcleanreg」と入力します。
確認のダイアログ ボックスが開きます。
- 3 ダイアログ ボックスの確認を承諾します。

ユーザー定義のレジストリまたはユーザーのデフォルト設定は、標準のデフォルト設定に置き換えられます。

ライセンス

2

Autodesk Moldflow ソフトウェアは Autodesk License Manager (Moldflow) で管理するフローティング ライセンス システムを使用します。

Autodesk Moldflow Adviser などのライセンスを必要とする製品をインストールすると、Autodesk License Manager (Moldflow) ソフトウェアのインストールは自動的に開始されます。DVD インストール メニューから直接インストールすることもできます。このソフトウェアの設定は、次のいずれかのオプションを選択できます。

クライアントとサーバー このオプションは、現在のマシンにライセンス キーを登録する場合にのみ選択し、クライアントに加えてライセンス サーバーをインストールします。ライセンス サーバーでは、ローカルおよびネットワーク上のクライアントに利用可能なライセンスへのアクセスを許可するために、追加の設定が必要となります。

クライアントのみ このオプションは、Autodesk License Manager (Moldflow) サーバーがネットワーク上の別の場所に既に設定されている場合に選択します。ライセンスを必要とする Autodesk Moldflow 製品を実行するすべてのマシンに、クライアントをインストールする必要があります。

Autodesk License Manager (Moldflow) ソフトウェアのスタンドアロン インストールは Windows マシンのみで実行可能です。Linux 環境に製品をインストールすると、クライアントが自動的にインストールされます。

ライセンス機能

Autodesk Moldflow Adviser で使用できる機能は、サーバーで利用可能なライセンスによって決定されます。

次にライセンス タイプを機能が少ないものから順番に示します。

- **Autodesk® Moldflow® Adviser Design**
- **Autodesk® Moldflow® Adviser Manufacturing**
- **Autodesk® Moldflow® Adviser Advanced**

解析などの操作を実行する際、Autodesk License Manager (Moldflow) クライアントは操作に最低限必要なレベルのライセンスを要求します。最低限レベルのライセンスが Autodesk Moldflow Adviser Design の場合、この操作でアプリケーション

ン自体の実行ができます。最低限レベルのライセンスが利用できない場合は、クライアントはより高いレベルのライセンスを確保しようと試みます。

インストールされていないライセンスを必要とする操作を実行した場合、このライセンスの入手を求めるメッセージが表示されます。他のクライアントで使用中的であるために、必要なライセンスが使用できない場合は、「ライセンスがありません」というメッセージが表示されます。

ライセンス サーバーの設定

ライセンス キーの取得

重要: 複数の Autodesk Moldflow 製品のシリアル番号がある場合、製品ごとに登録を行う必要があります。各シリアル番号を登録する度に、新しいライセンス ファイルが発行されます。

製品の登録

- 1 インターネット接続と稼動しているウェブ ブラウザが必要です。
- 2 [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] > [Autodesk] > [License Manager (Moldflow)] > [Activate Licenses] の順にクリックします。

注: 登録は Autodesk License Manager (Moldflow) インストール ウィザードの終了時に、[Activate licenses online] チェックボックスを選択して実行することもできます。

Autodesk 製品登録ページがブラウザ ウィンドウに表示されます。Autodesk ユーザー ID とパスワードでログインします。Autodesk ユーザー ID をお持ちではない場合は、ログインページの手順に従って作成します。

- 3 プロンプトに従って、ライセンス キーを取得します。
下表には、登録手順に必要な情報の取得方法を示しています。

情報	取得方法
製品シリアル番号	通常、DVD ケースの裏に表示されています。
ネットワーク サーバー タイプ	単一サーバーまたは分散サーバーのいずれかを選択します。冗長サーバーは、Autodesk License Manager (Moldflow) ソフトウェアではサポートされていません。 注: 分散サーバーを使用することで、ライセンス プールを複数の異なるライセンスサーバーに分割できますが、Autodesk License Manager (Moldflow) は一度に 1 つのライセンスサーバーのみを指すことができます。

情報	取得方法
サーバー ホスト名	[スタート]メニューから、[すべてのプログラム]>[Autodesk]>[Network License Manager]>[LMTOOLS]の順にクリックし、[System Settings] タブを選択、[Computer/Hostname] フィールドにあるテキストを使用します。
サーバー ID	[スタート]メニューから、[すべてのプログラム]>[Autodesk]>[Network License Manager]>[LMTOOLS]の順にクリックし、[System Settings] タブを選択、[Ethernet Address] フィールドにあるテキストを使用します。 注: 複数の ID が空白で区切られている場合、主要 (物理) ネットワーク アダプターに対応する ID を選択する必要があります。詳細なヘルプ情報は、 適切なサーバー ID の検出 24 ページ を参照してください。

- 4 生成されたライセンス ファイルをローカル ディレクトリに保存します。次のディレクトリを使用することを推奨します。C:\Program Files\Autodesk Network License Manager\License

注: Windows 64 ビット版を使用している場合、次のパスを使用します。C:\Program Files (x86)\Autodesk Network License Manager\License

- 5 他の製品に関しても、シリアル番号を使用して上記の登録手順を繰り返します。複数のライセンス ファイルがある場合は、個別に保存して最終的に単一のライセンス ファイルに結合します。詳細なヘルプ情報は、[ライセンス ファイルの統合](#) 25 ページ を参照してください。

重要: ライセンス ファイルの編集には、**メモ帳**を使用することを推奨します。**ワードパッド**など他のテキスト エディタは、これらのファイルを破損する可能性があります。

ライセンス キーの取得完了後は、Autodesk License Manager (Moldflow) サーバー ソフトウェアの設定を行う必要があります。Autodesk FlexLM ライセンス サーバーを既に設定していて、新規ライセンスをインストールする場合のヘルプ情報に関しては、[既存ライセンス サーバーへの新規ライセンスのインストール](#) 13 ページを参照してください。

新規ライセンス サーバーの設定

この作業を実行するには、ライセンス ファイル (.lic) を取得しておく必要があります。

重要: クライアントおよびサーバーがポート 6014 で TCP/UDP を介して通信できることを確認します。Windows でポートを開く方法に関しては、<http://www.autodesk.com/adlm-help-jp> を参照してください。サードパーティ製のパーソナル ファイアウォールを使用している場合は、それに付属するドキュメンテーションを参照してください。

ライセンス サーバーの設定

- 1 管理者権限を使用してログインします。
- 2 LMTOOLS ユーティリティを開きます。

**Windows XP およ
び Windows
Server 2003 :** [スタート] > [すべてのプログラム] > [Autodesk]
> [Network License Manager] > [LMTOOLS] を選
択します。

**Windows Vista、
Windows Server
2008、および
Windows 7 :** Windows エクスプローラのウインドウを開きます
([スタート] > [コンピュータ])。
C:\Program Files\Autodesk Network License
Manager に移動します。

注: Windows 64 ビット版を使用している場合は、
次のパスを使用します。C:\Program Files
(x86)\Autodesk Network License Manager

[Lmtools] アイコンを右クリックし、[管理者とし
て実行] を選択します。

注: [管理者として実行] を使用して LMTOOLS ユー
ティリティを開くことにより、コンピュータの再
起動後に、ライセンス サーバーへの変更が確実に
保持されます。

- 3 [Service/License File] タブで、[Configuration using Services] オプショ
ンを選択していることを確認します。
- 4 [Config Services] タブを選択します。
- 5 このサービスの新しい名前を [Service Name] フィールドに入力し、[Save
Service] ボタンをクリックします。

注: 他のメーカーのソフトウェアに、FlexLM サービスが設定されている
可能性があります。Autodesk 製品には、一意のサービス名が必要です。

ヒント: サービス名に **Autodesk** という名前を挿入することで、後で識
別が容易になります。

- 6 **[Path to the lmgrd.exe file]** フィールドの横の **[Browse]** をクリックします。**C:\Program Files\Autodesk Network License Manager** に移動します。「lmgrd.exe」を選択し、**[開く]** をクリックします。

注: Windows 64 ビット版を使用している場合は、次のパスを使用します。**C:\Program Files (x86)\Autodesk Network License Manager**

- 7 **[Path to the license file]** フィールドの横の **[Browse]** をクリックし、登録手順でライセンス ファイルを保存したディレクトリまで移動します。ライセンス ファイルを選択し、**[開く]** をクリックします。
- 8 **[Path to debug log file]** フィールドの横の **[Browse]** をクリックし、ログ ファイルを保存するディレクトリを選択します。デフォルトのインストール ディレクトリ、**C:\Program Files\Autodesk Network License Manager** を選択することを推奨します。

注: Windows 64 ビット版を使用している場合は、次のパスを使用します。**C:\Program Files (x86)\Autodesk Network License Manager**

- 9 拡張子 **.log** を追加したログ ファイル名を入力し、**[開く]** をクリックします。
- 10 **[Use Services]** チェックボックスを選択していることを確認します。
- 11 **[Start Server at Power Up]** チェックボックスを選択していることを確認します。
- 12 **[Save Service]** をクリックします。
- 13 表示されたダイアログ ボックスで **[OK]** をクリックします。
- 14 **LMTOOLS** ユーティリティを閉じて、コンピュータを再起動します。

これで、サーバーは、選択したライセンス ファイルで定義したライセンスを使用するクライアントに応答するように設定されました。

注: 後日、ライセンス ファイルを変更した場合は、コンピュータを再起動する必要があります。再起動後、ライセンス サーバーが利用可能なライセンスを登録するのに最低 20 秒間待ちます。

ヒント: トラブルシューティング情報に関しては、<http://www.autodesk.com/adlm-help-jp> を参照してください。

既存ライセンス サーバーへの新規ライセンスのインストール

Autodesk Moldflow ライセンスを、既存の Autodesk FlexLM ライセンス サーバー (単一または分散サーバー モデルを使用) にインストールすることができます。

重要: Autodesk License Manager (Moldflow) 2011 サーバー ソフトウェアが、既存のライセンス サーバーにインストールされていることを確認してください。これにより、Autodesk Moldflow Proxy Server (amfpsd.exe) の最新バージョンがインストールされます。ライセンス サーバーの操作に関する詳細は、[Autodesk License Manager \(Moldflow\) サーバー/クライアント モデル 26 ページ](#) を参照してください。

Autodesk Moldflow 2011 ライセンスは、旧バージョンのサーバーとの互換性はありません。Autodesk Moldflow 2011 ライセンスは、サーバー ソフトウェアのアップグレードとの互換性を保持します。

インストールを続行するには、新規ライセンス ファイル (.lic) をオンライン登録で取得し、ローカル ディレクトリに保存する必要があります。

- 1 既存のライセンス ファイルの保存場所を確認します。
 - a LMTOOLS ユーティリティ ([**スタート**] > [**すべてのプログラム**] > [**Autodesk**] > [**Network License Manager**] > [**LMTOOLS**]) を開き、[**Config Services**] タブを選択します。
 - b [**Service Name**] ドロップダウンメニューから、既存の Autodesk FlexLM サービス名を選択します。

ヒント: 複数のサービス名がリストにある場合は、[**Path to the lmgrd.exe file**] フィールドを使用して、Autodesk FlexLM サービスに対応するサービス名を特定します。デフォルトのインストールパスは、次のようになります。

- C:\Program Files\Autodesk Network License Manager\lmgrd.exe (32 ビット)
 - C:\Program Files (x86)\Autodesk Network License Manager\lmgrd.exe (64 ビット)
-

ライセンス ファイルの保存場所は、[**Path to the license file**] フィールドに表示されます。

- 2 既存のライセンス ファイルを**メモ帳**で開き、新規ライセンス ファイルからコピーしたテキストを新しい行に追加します。

詳細なヘルプ情報は、[ライセンス ファイルの統合 25 ページ](#) を参照してください。
- 3 既存のライセンス ファイルへの変更を保存します ([**ファイル**] > [**保存**])。
- 4 コンピュータを再起動します。

注: 再起動後、ライセンス サーバーが利用可能なライセンスを登録するのに最低 20 秒間待ちます。

ヒント: トラブルシューティング情報に関しては、
<http://www.autodesk.com/adlm-help-jp> を参照してください。

CAD との統合

A

Autodesk Moldflow Adviser ソフトウェアは次の CAD パッケージとの統合が可能です。

- Autodesk Inventor 2011
- SolidWorks 2010
- Pro/ENGINEER Wildfire 5.0

注: 該当する統合コンポーネントを CAD パッケージに組み込む必要があります。この作業は Autodesk Moldflow Adviser インストールの **[Select Components]** ダイアログボックスで行います。

以下では、各 CAD パッケージ内から Autodesk Moldflow Adviser にアクセスする方法について説明します。

Autodesk Inventor 2011

Autodesk Moldflow Adviser をインストールする前に、Autodesk Inventor 2011 をインストールする必要があります。

注: Microsoft .NET バージョン 2 をインストールする必要があります。.NET バージョン 2 は次のサイトからダウンロードできます。
<http://www.microsoft.com/japan/msdn/netframework/downloads/default.aspx>

インストール完了後、Autodesk Moldflow Adviser ソフトウェアにアクセスする手順

- 1 Autodesk - Inventor を開きます。
- 2 モデルを開く、または新しいモデルを作成します。
- 3 **[Autodesk Moldflow Adviser] > [Export to Autodesk Moldflow Adviser]** をクリックします。
Autodesk Moldflow Adviser が開き、**インポート ウィザード**が CAD モデルの処理を開始します。

SolidWorks 2010

Autodesk Moldflow Adviser をインストールする前に、SolidWorks ソフトウェアをインストールする必要があります。

注: Microsoft .NET バージョン 2 をインストールする必要があります。 .NET バージョン 2 は次のサイトからダウンロードできます。

<http://www.microsoft.com/japan/msdn/netframework/downloads/default.aspx>

- 1 SolidWorks を開きます。
- 2 モデルを開く、または新しいモデルを作成します。
- 3 **[Autodesk] > [Moldflow Adviser]** をクリックします。
Autodesk Moldflow Adviser が開き、**インポート ウィザード**が CAD モデルの処理を開始します。

Pro/ENGINEER Wildfire 5.0

Pro/ENGINEER ソフトウェアが事前にインストールされていることを確認します。

Autodesk Moldflow Adviser ソフトウェアのインストール時に、統合コンポーネントが Pro/Engineer Wildfire に追加されます。 Autodesk Moldflow Adviser は Pro/ENGINEER のインストール場所を認識する必要があります。通常、これは自動的に処理されます。 Autodesk Moldflow Adviser が Pro/Engineer のインストール場所を検出できない場合、ディレクトリ ブラウザが表示されます。 Pro/ENGINEER をインストールしているディレクトリを選択します。通常は、**C:\Program Files\proeWildfire 5.0** です。

インストール完了後、Autodesk Moldflow Adviser にアクセスする手順

- 1 Pro/ENGINEER を開きます。
- 2 モデルを開く、または新しいモデルを作成します。
- 3 **[Application] > [Autodesk Moldflow Adviser]** をクリックします。
Autodesk Moldflow Adviser が開き、**インポート ウィザード**が CAD モデルの処理を開始します。

コマンドプロンプトからのインストール

B

コマンドライン手順は、Autodesk Moldflow Adviser ソフトウェアの遠隔地からのインストール、またはワイドネットワーク経由のインストールにおいて特に効果的です。

インストール DVD からのインストール

- 1 コマンドプロンプトを開きます。
 - Windows XP では、[スタート] > [ファイル名を指定して実行] をクリックし、「CMD」を [名前] テキストボックスに入力します。
 - Windows 7 または Vista では、[スタート] をクリックして、[スタート]メニューの下部にある [検索の開始] ダイアログボックスに「CMD」と入力し、CTRL+SHIFT+ENTER キーを押して、管理者としてコマンドプロンプトウィンドウを開きます。
- 2 DVD ドライブまで移動します。例 : D:
- 3 {rel}\windows ディレクトリまで移動します。{rel} は現在のリリースを表します。
例 : cd ama2011\windows
- 4 実行ファイル名をタイプします。例 : amapc.exe

コマンドラインインストールオプション

Autodesk Moldflow Adviser ソフトウェアをコマンドプロンプトからインストールする場合、インストールの一部として、コマンドプロンプトにインストールのパラメータを指定できます。

例えば、デフォルトではソフトウェアをインストールするマシン上に、セットアップウィザードダイアログボックスが表示されます。ソフトウェアをサイレントインストールし、プロンプトや進捗ダイアログボックスを表示しないようにするには、インストール構文の一部として */verysilent* パラメータを指定します。

```
amapc.exe [/silent] [/verysilent] [/dir="x:\dirname"]
```

オプション

/silent

進捗ダイアログが表示されますが、ユーザーに対する質問はありません。

/verysilent

インストーラは完全にサイレントで、何も表示されません。

/dir

代替のインストールディレクトリを、引用符"で囲んだ絶対パス名として指定します。

/userdir

ユーザーのデフォルトのプロジェクトフォルダを、引用符"で囲んだ絶対パス名として指定します。

/tmpdir

一時ディレクトリを、引用符"で囲んだ絶対パス名として指定します。

/components="Inventor"

Autodesk Moldflow Adviser Autodesk Inventor 2011 統合パッケージをインストールします。

/components="Solidworks"

Autodesk Moldflow Adviser SolidWorks 2010 統合パッケージをインストールします。

/components="Proe"

Autodesk Moldflow Adviser Pro/ENGINEER Wildfire 5.0 統合パッケージをインストールします。

/mfpsserver

Autodesk License Manager (Moldflow) ライセンスサーバーとして使用するマシンを、引用符"で囲んだコンマ区切りのリストとして指定します。このオプションを使用しない場合は、localhost が使用されます。

mfpsdir

代替の Autodesk License Manager (Moldflow) インストールディレクトリを、引用符"で囲んだ絶対パス名として指定します。

/nomfps

Autodesk License Manager (Moldflow) のインストールを無効にします。

例

amapc.exe /silent

Autodesk Moldflow Adviser 2011 をサイレント インストールします。インストール ウィザードが表示されますが、入力 は要求されません。サーバー名 は localhost に設定されます。

amapc.exe /verysilent

Autodesk Moldflow Adviser 2011 をサイレント インストールします。インストール ウィザードは表示されません。サーバー名は localhost に設定されます。

**amapc.exe /silent
/components="Inventor,Solidworks"**

Autodesk Moldflow Adviser 2011、クライアント アプリケーション、Autodesk Inventor、および SolidWorks の CAD 統合コンポーネントをサイレント インストールします。サーバー名は localhost に設定されます。インストール ウィザードが表示されますが、入力 は要求されません。

最低限のライセンス要件



次の表は、各解析タイプと一般的な操作に最低必要なライセンスの一覧です。

解析タイプ / 操作	Autodesk Moldflow Adviser	Autodesk Moldflow Insight
Synergy (GUI) を開く	Design	Synergy
結果の表示	Design	Synergy
モデルの生成	Design	Synergy
レポートの作成	Design	Synergy
充填解析	Design	Basic
ゲート位置解析	Design	Basic
モールディング ウィンドウ解析	Design	Basic
冷却品質解析	Design	適用せず
設計アドバイザー解析	Design	適用せず
ヒケ解析	Design	適用せず
Midplane 解析テクノロジー	適用せず	Basic
Dual Domain 解析テクノロジー	Design	Basic
3D 解析テクノロジー	Manufacturing	Basic
ランナー アドバイザ解析	Manufacturing	適用せず
ランナーバランス解析	Manufacturing	Basic
モデルのメッシュ生成	適用せず	Basic
リアクティブ成形	適用せず	Basic
マルチバレル	適用せず	Basic
RTM/SRIM	適用せず	Basic
実験計画法解析	適用せず	Basic
オーバーモールディング	適用せず	Basic
充填+保圧解析	Advanced	Basic
冷却解析	Advanced	Performance

解析タイプ / 操作	Autodesk Moldflow Adviser	Autodesk Moldflow Insight
反り解析	Advanced	Performance
収縮解析	適用せず	Performance
コア シフト解析	適用せず	Performance
応力解析	適用せず	Performance
繊維配向	適用せず	Performance
成形プロセス最適化解析	適用せず	Performance
半導体封止成形	適用せず	Performance
リアクティブ射出圧縮	適用せず	Performance
アンダーフィル封止成形	適用せず	Performance
Autodesk Algor シミュレーション インターフェース	Advanced	Performance
Autodesk Moldflow Structural Alliance インターフェース	Advanced	Performance
構造解析インターフェース	適用せず	Performance
パドル シフト解析	適用せず	Performance
ダイナミック パドル シフト解析	適用せず	Performance
ワイヤー スリーブ解析	適用せず	Performance
複屈折解析	適用せず	Advanced
ガスアシスト成形	適用せず	Advanced
MuCell	適用せず	Advanced
射出圧縮	適用せず	Advanced
コインジェクション	適用せず	Advanced

ライセンス補足情報

D

シリアル番号

複数の製品を購入している場合、各製品に対してシリアル番号を受け取ります。Autodesk Moldflow ソフトウェアを購入された場合、購入された各製品に対して、固有のシリアル番号を有する個別の DVD が配送されます。

重要: 製品のライセンスを取得するには、各製品のシリアル番号に対してオンライン登録を行う必要があります。次に、これらの複数のライセンスを 1 つのライセンス ファイルに統合する必要があります。詳細は [ライセンス ファイルの統合](#) 25 ページ を参照してください。

下図は DVD ラベルの例を示しています。シリアル番号は [S/N] 欄で確認できます。

MFXX 2011 XXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXX
Purchased Seats: X (Client Hosted)

S/N: XXX-XXXXXXXX
Product Key: XXXXX

図 1: Autodesk Moldflow DVD ラベル

このラベルの左上隅にあるコードは、このシリアル番号に関連する製品を示します。

表 4: Autodesk Moldflow 製品コード

コード	製品
MFAD	Autodesk Moldflow Adviser Design
MFAM	Autodesk Moldflow Adviser Manufacturing

コード	製品
MFAA	Autodesk Moldflow Adviser Advanced
MFS	Autodesk Moldflow Insight Synergy
MFIB	Autodesk Moldflow Insight Basic
MFIP	Autodesk Moldflow Insight Performance
MFIA	Autodesk Moldflow Insight Advanced
MFCB	Autodesk Moldflow CAD Doctor
MFDLPROE	Autodesk Moldflow Design Link for Pro/ENGINEER
MFDLPARA	Autodesk Moldflow Design Link for Parasolid
MFDLCATIA	Autodesk Moldflow Design Link for CATIA V5

適切なサーバー ID の検出

サーバー ID は、イーサネットまたは WiFi などの物理ネットワーク アダプターに与えられる固有のアドレスです。VPN (Virtual Private Network) または VM (Virtual Machine) などのソフトウェアを実行する場合は、論理サーバー ID が存在することもあります。オンライン登録時にサーバー ID を求められた場合は、物理ネットワーク アダプターに対応するサーバー ID を選択することが重要です。

注: ここで、サーバー ID とは、ホスト ID、物理アドレス、およびイーサネットアドレスと同じです。

- 1 Windows コマンド プロンプトを開きます ([スタート] > [すべてのプログラム] > [アクセサリ] > [コマンド プロンプト])。
- 2 「ipconfig /all」と入力し、Enter キーを押します。マシンのすべてのネットワーク アダプターに関する情報が一覧表示されます。
- 3 主要ネットワーク接続として機能するアダプターを見つけます。登録時のサーバー ID として、この [Physical Address] (物理アドレス) (ハイフンで区切らない) を使用します。例えば、[Physical Address] (物理アドレス) フィールドに「00-1A-4D-45-08-B2」と表示されている場合、「001A4D4508B2」と入力します。

ヒント: [Description] (説明) フィールドは、主要ネットワーク接続を特定するのに使用します。

ライセンス ファイルの統合

Autodesk License Manager (Moldflow) サーバーの FlexLM コンポーネントでは、すべての利用可能なライセンス キーを単一のファイルに統合しておく必要があります。

次の手順は、オンライン登録で生成したライセンス ファイルの統合方法を説明しています。また、同じ方法を使用して、新規ライセンスを既存の Autodesk ライセンス ファイルに追加できます。

注意: ライセンス ファイルは、メモ帳などのシンプルなテキスト エディタで編集する必要があります。リッチ テキスト エディタや Unix の改行コードによって、ライセンス ファイルが破損する可能性があります。

- 1 **Windows エクスプローラ**で、ライセンス ファイルを保存したディレクトリに移動します。
- 2 各ファイルを**メモ帳**で開きます (**右クリック** > **[プログラムから開く]** > **[Notepad]**)。
- 3 **メモ帳**のウィンドウの上部で **[ファイル]** > **[名前をつけて保存]** を選択します。
- 4 ライセンス ファイルに新しい名前を付けて (「master.lic」など)、**[保存]** をクリックします。
この後のステップでは、このファイルをマスター ライセンス ファイルと呼びます。
- 5 残りの**メモ帳**のウィンドウで、「INCREMENT」または「PACKAGE」(最初に表示される方)を含む行を探します。この行からのテキストをコピーして、マスター ライセンス ファイルの新しい行に貼り付けます。

注: マスター ライセンス ファイルには空白の行がないことを確認します。

次は 2 つのライセンス ファイルを結合したマスター ライセンス ファイルの例を示しています。

```
SERVER XXHP0528 0019bbd68993
USE_SERVER
VENDOR adskflex port=2080
INCREMENT 57600ACD_2009_0F adskflex 1.000 permanent 5 \
VENDOR_STRING=commercial:permanent BORROW=4320 SUPERSEDE \
DUP_GROUP=UH ISSUED=09-Jan-2008 SN=123-12345678 SIGN="1393 \
E368 816E D417 C1CD 7DBD 7B90 1354 D6F0 48FE EBB8 9C84 C3AF \
7D79 BEE1 0181 0655 76FF 996C B707 14B5 D4DE A3FE 0B2D 2D36 \
057C A579 7866 26BF 44E2" SIGN2="1280 943B 53A7 9B93 E00B D967\
D821 BD37 BE6D B78A F074 B223 88AA 242C DD0A 1292 D56F 4108 \
62CD FA35 E365 0736 A011 7833 8B35 7BFF DAD8 34A8 452F 2EB4"
INCREMENT 54600ACD_2008_0F adskflex 1.000 permanent 3 \
VENDOR_STRING=commercial:permanent BORROW=4320 SUPERSEDE \
DUP_GROUP=UH ISSUED=09-Jan-2008 SN=123-12345678 SIGN="1E6E \
4B61 5712 4766 92A0 6782 9EF4 3F47 56A1 1F38 6DE8 C0C7 90AC \
7289 152E 0EA2 CC0D 3F10 577A 0489 CEB6 10D5 FBCC B552 0C9D \
5966 91A6 59F0 2788 FACE" SIGN2="1DDF 3B9D 3392 71D5 AB08 7E05\
```

```
8497 111E 092F 0E54 8DC2 2BED 17C2 2CC1 981B 0EC2 BC15 8F00 \
C79A ABFD 2136 BABA 2EDF E941 EA53 32C6 597F F805 5A8A 599A"
```

この作業が完了したら、マスターライセンスファイルを保存します ([ファイル] > [保存])。

ライセンス サーバーの設定時には、新しく作成されたマスター ライセンスファイルを使用する必要があります。

Autodesk License Manager (Moldflow) サーバー/クライアント モデル

次は Autodesk License Manager (Moldflow) サーバー/クライアント モデルの図解です。

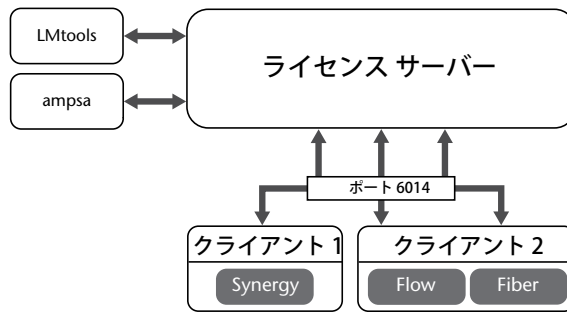


図 2: サーバー/クライアント図

サーバーの設定には、次のコンポーネントを使用できます。

LMtools FlexLM サーバー コンポーネント設定用ユーティリティ ([スタート] > [すべてのプログラム] > [Autodesk] > [Network License Manager] > [LMTOOLS])

ampsa Autodesk Moldflow Proxy Server を実行中のローカル マシンまたはリモート マシン上の利用可能なライセンス監視用ユーティリティ ([スタート] > [すべてのプログラム] > [Autodesk] > [License Manager (Moldflow)] > [Proxy Server Monitoring])

ポート 6014 amfpsd.exe とクライアント ソフトウェア間の通信に使用する外部ポート。このポートを変更するには、サーバーおよびクライアントの両方で、次のシステム環境変数を設定します。

```
MPSADLMPORT
```

ヘルプ情報の取得

サポートチームへのお問い合わせの前に、次のようなオンラインリソースでライセンスに関するヘルプ情報を確認することができます。

- **Autodesk License Manager (Moldflow) に関するトラブルシューティング** : <http://www.autodesk.com/adlm-help-jp>
- **Autodesk サポート** : support.autodesk.com
- **Autodesk ディスカッション グループ (英語)** : discussion.autodesk.com/forums
- **Autodesk サブスクリプション センター** : subscription.autodesk.com

ライセンスの問題に関してサポートに連絡する場合は、診断レポートを添付することを推奨します。

診断レポートの作成方法

- 1 **Windows エクスプローラ**で、Autodesk Licence Manager (Moldflow) インストール ディレクトリに移動します。

ヒント: デフォルトのインストール パスは、次のようになります。

- **C:\Program Files\Autodesk\License Manager (Moldflow)** (32 ビット)
- **C:\Program Files (x86)\Autodesk\License Manager (Moldflow)** (64 ビット)

- 2 「adlmdiag.bat」というファイルを見つけ、ダブル クリックして実行します。

注: Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7 では、ファイルを右クリックして **[管理者として実行]** を選択する必要があります。

コマンド ウィンドウが表示され、Autodesk FlexLM サービス名の入力が求められます。

- 3 Autodesk FlexLM サービス名を入力し、**Enter** キーを押します。
Autodesk FlexLM サービス名は、[新規ライセンスサーバーの設定](#) 11 ページの手順 5 で設定した名前です。
これにより、診断レポート (adlm_info.txt) が同じディレクトリに生成されます。

ライセンスの問題についてのお問い合わせは、この診断レポートを添えて Autodesk Moldflow サポート チームまでご連絡ください。サポートの窓口は、ご購入先により異なりますので、担当営業にご確認ください。